



現在、全国的に空き家の数が増加し続けており、大きな社会問題となっていますが、本市においても今後空き家の増加が懸念されています。

令和4年度に実施した空家等実態調査では、市内に1,615件(4.71%)の空き家があり、その約9割が一戸建ての住宅であることが分かりました。また、空き家の所有者にアンケートを実施したところ、空き家の取得経緯として最も多かったのは相続によるもので、約7割を占めました。

空き家は適切に管理せずに放置してしまうと、資産価値の低下に繋がるだけでなく、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼす可能性が高くなります。長期間放置される空き家を発生させないためには、家族が元気なうちから住まいに対する想いを共有し、住まいの将来を考えることが大切です。

そこで、家族で住まいについて話すきっかけづくりを目的に、「住まいを考えるノート」を作成しました。このノートは書き込み式になっており、記入していくことで、住まいについて自分やご家族がどのように考えているかを共有したり表現したりすることができます。

今後、このノートを実際に作成するセミナーを地域単位で開催するなど、ノートの活用を広げていき、空き家の発生抑制を目指します。

【「住まいを考えるノート」概要】

内 容： ノートは書き込むことで「自分のこと」「家族の事」「住まいのこと」を考えることができる構成になっています。

費 用： 無料

取得方法： 宗像市 HP にてダウンロード。

ダウンロード先： <https://www.city.munakata.lg.jp/>



《住まいを考えるノート》

【問い合わせ先】

宗像市都市再生部都市再生課(担当:小田、大内田) TEL:0940-36-9777